

マス類の

投薬マニュアル



目次

1. 魚に異状を感じたら …… 2
2. 投薬の流れ …… 4
3. マス類に使用可能な薬 …… 6
4. 薬を餌にからめる方法 …… 8
5. 海面養殖の場合の注意点 …… 10

1. 魚に異状を感じたら

1 病気がどうか見分ける

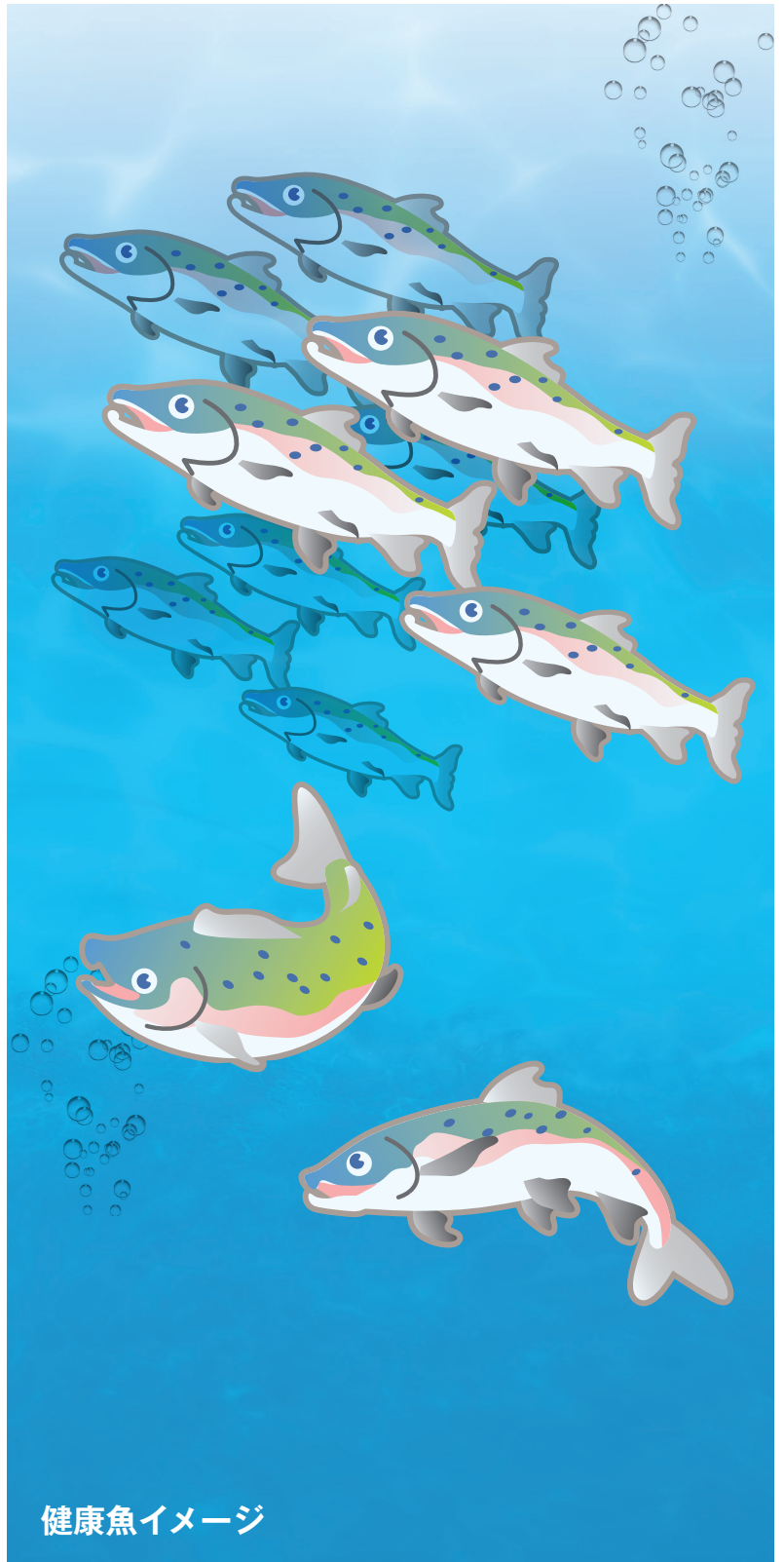
以下の様子が見られる場合は病気の可能性があります。注意深く観察しましょう。

①魚の様子がいつもと違う

- ・排水口付近や水面近くを力なく泳いでいませんか？
- ・ぼんやりしている魚はいませんか？
- ・眼が突出していたり、体表に潰瘍が見られる、体色が違う（黒ずんだり、白っぽくなったり等）など、見た目がいつもと違いますか？
- ・餌を食べなくなっていますか？

②死亡が日に日に増える

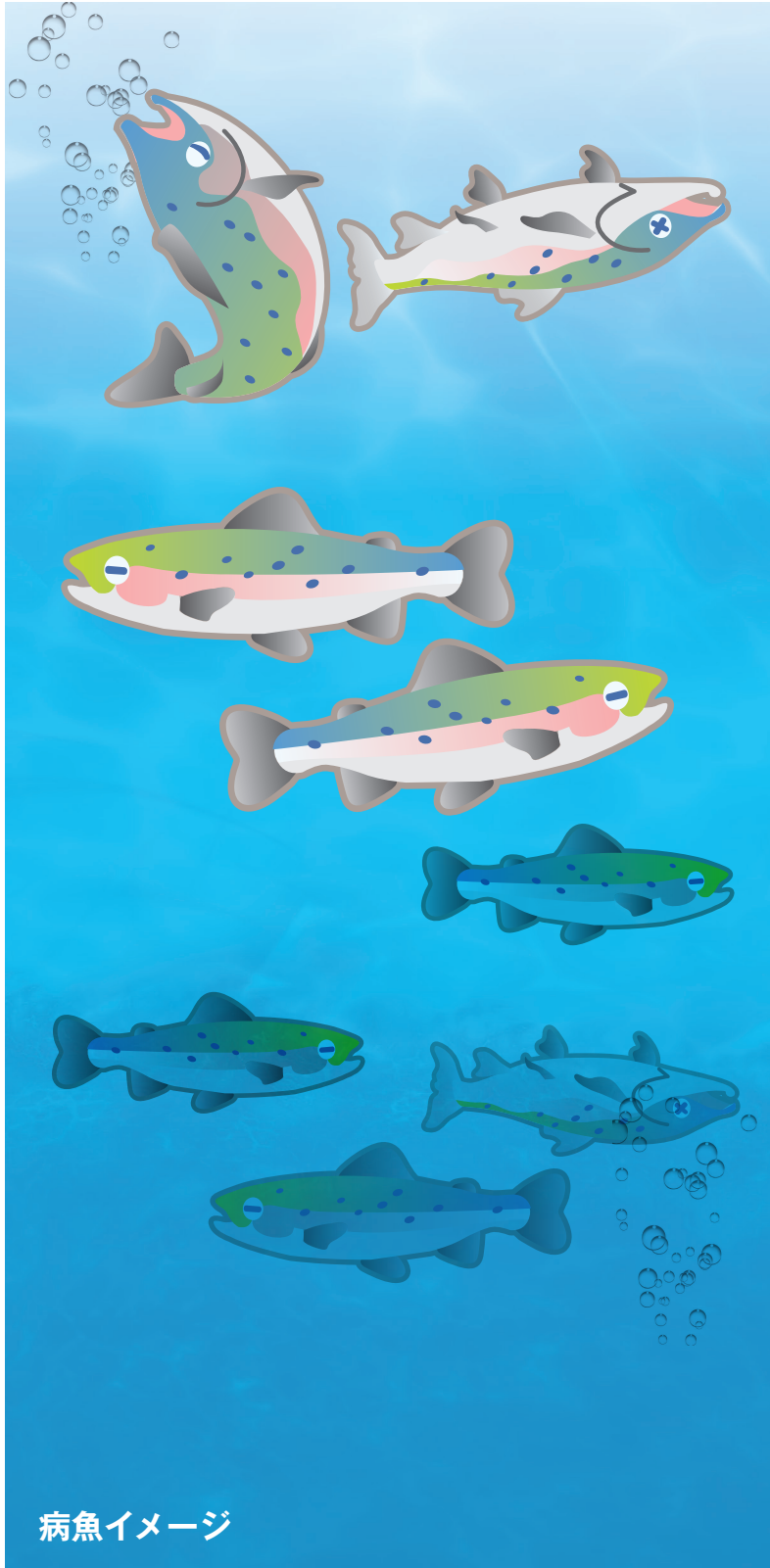
小型で痩せている魚は、餌を食べられず、死んでしまう場合があります。それとは異なり、これまで元気だった魚に「①魚の様子がいつもと違う」状態が見られ、死亡が増えている場合は要注意です。



健康魚イメージ



魚に異状を感じたら、病気の可能性があります。薬（抗菌剤）を使用できる病気の場合は、発病後（ある病気の特定の症状がみられた後）早ければ早いほど投薬効果が大きくなります。このため、まず何の病気かを把握することが大切です。



2 | 何の病気が判断する

何の病気かわからない時は、専門家（水産試験場等）に魚病診断を依頼しましょう。魚に症状が見られたらすぐに相談することで、早期解決につながります。

3 | 薬が使える病気が確認する

マス類で薬が使用できる病気は、冷水病、せつそう病、ピブリオ病、連鎖球菌症の4つです（→詳しくは6～7ページ参照）。これらの病気の場合は投薬を検討しましょう。



薬（抗菌剤）は、細菌の病気に対して効果があります。ウイルスや寄生虫が原因の病気には効果がないことにご注意ください!!

毎日しっかり魚を観察することで、小さな異変にもすぐ気づけるようになります。



2. 投薬の流れ

投薬が有効な病気と分かったら、早速治療を開始しましょう。ここでは投薬前の準備から投薬までの手順やポイントを簡単に説明します。

① 投薬対象群の総重量を把握する

◆ 総重量 = 平均体重 × 収容尾数



② 1日あたりの投薬量を求める

◆ 投薬量 (1日分) = 総重量 (①) × 薬ごとに定められた用量^{注1)}

注1) 商品ごとに有効成分含量が異なります。用法用量は使用説明書 (添付文書) を必ず確認しましょう。

◆ 1日に投薬する分を毎日準備する (作り置きは避ける)

③ 投薬時の給餌量を決める

◆ 投薬時の給餌量 = 適正給餌量^{注2)} の約50%を目安^{注3)}

注2) 健康時 (あるいは発病前) の給餌において、餌への食いつきが少し弱まった時までの給餌量。

注3) 淡水養殖における投薬時の給餌量は、ライトリッツの給餌率表の約60%を目安でも可。

◆ 投薬する魚全体に行き渡り、かつ食べきれぬ量にすることが重要

④ 餌にからめる

◆ 1日分の餌 (③) に薬 (②) をからめる

◆ 水に溶ける薬、水に溶けない薬、液体の薬で

それぞれやり方が変わるので注意!

詳しくはP8~9へ





5 投薬する

◆ 投薬回数^{注4)} **1日分を1回**で投薬 ^{注4)} 稚魚の場合は1日複数回に分けた投薬も可。

◆ 投薬するタイミング

● 水温が変動する河川水では、

各魚種の**飼育適水温^{注5)}の時間帯**の

投薬が望ましい

(特に水温が高くなっている時間帯は避ける)

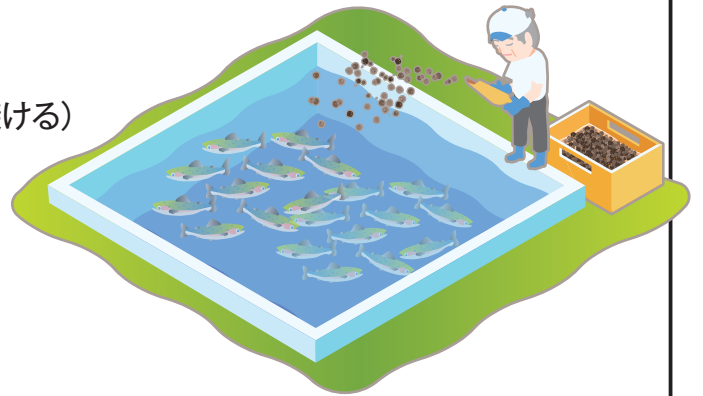
^{注5)} 養殖代表魚種例: ニジマス9~18℃、
ヤマメ・アマゴ10~18℃、イワナ10~15℃

● 水温が一定の湧水や地下水では、

毎日同じ時間帯の投薬が望ましい

(投薬間隔を一定に保つ)

◆ 投薬期間 薬ごとの用法用量に定められた期間**毎日投薬**



6 記録する

◆ 投薬日、投薬対象群の総重量や平均体重(①)、投薬量(②)などを記録^{注6)}

^{注6)} 薬(抗菌剤)の購入にあたっては、専門家(水産試験場等)が発行する水産用抗菌剤使用指導書が必要になります。本指導書の交付申請時に薬の使用記録票(写し)の添付が求められるので、日頃から忘れずに記録を付けるようにしましょう。

※「水産用医薬品について」(農林水産省HP)のQRコードが裏表紙右下にあります。



投薬を始めて約3日を
経過しても日間死亡率が
低減されない…



投与している薬が効いていない可能性があります。このような場合は、一度専門家(水産試験場等)に相談しましょう。



投薬が終わった後の
給餌はどうしたらいい?



投薬時と同じくらいの給餌量を1週間程度維持し、その後は魚の様子を見ながら徐々に投薬前の給餌量に戻していくと良いでしょう。



出荷時の注意!!

薬を使った後は、魚体内に薬が残らないように出荷まで期間(使用禁止期間)をあける必要があります。**必ず薬の使用禁止期間を確認しましょう!**



3. マス類に使用可能な薬


(1) 水に溶ける薬 (粉末)

有効成分	対象魚種	対象疾病	製剤名
<p>【スルファモノメトキシナトリウム】</p>  <p>水産用スルファモノメトキシソーダ 純末「KS」 画像提供：共立製薬（株）</p>  <p>水産用ダイメトンソーダ 画像提供：愛媛県農林水産研究所 水産研究センター</p>		せっそう病 ビブリオ病	<p>水産用スルファモノメトキシ ソーダ純末「KS」</p> <p>水産用ダイメトンソーダ</p>
<p>【オキシテトラサイクリン塩酸塩】</p>  <p>水産用 OTC20%「あすか」NC 画像提供：あすかアニマルヘルス（株）</p>  <p>水産用 OTC50%「バイオ」NC 画像提供：バイオ科学（株）</p>  <p>水産用 OTC 散「TG」10% 画像提供：(株)トーヨー技術研究所</p>  <p>水産用 OTC 散 10%「KS」 画像提供：共立製薬（株）</p>	<p>にしん目魚類 (淡水で飼育されて いるもの。あゆを除 く)</p> <p>例 にじます やまめ さくらます あまご さつきます いわな ぎんざけ 等</p>	せっそう病 ビブリオ病 連鎖球菌症	<p>水産用 OTC20%「あすか」NC</p> <p>水産用 OTC20%「バイオ」NC</p> <p>水産用 OTC50%「バイオ」NC</p> <p>水産用 OTC 散「TG」10%</p> <p>水産用 OTC 散「TG」20%</p> <p>水産用 OTC 散「TG」40%</p> <p>水産用 OTC 散10%「KS」</p> <p>水産用 OTC 散20%「KS」</p> <p>水産用 OTC 散50%「KS」</p>
<p>【スルフィソゾールナトリウム】</p>  <p>イスランソーダ 画像提供：MSD アニマルヘルス（株）</p>	にじます のみ	ビブリオ病 冷水病	イスランソーダ

(2) 水に溶けない薬 (粉末)

有効成分	対象魚種	対象疾病	製剤名
【スルファモノメトキシシシ】  水産用ダイメトン散 画像提供：福田穰氏	にしん目魚類 (淡水で飼育されているもの。あゆを除く) 例 にじます やまめ さくらます あまご さつきます いわな ざんざげ 等	せっそう病 ビブリオ病	水産用ダイメトン散
【オキシリン酸】  水産用オキシリン酸10%散「KS」 画像提供：共立製薬(株)			水産用オキシリン酸10%散「KS」
 水産用パラザン10% 画像提供：物産アニマルヘルス(株)			水産用オキシリン酸20%散「KS」
			水産用パラザン10%

(3) 液体の薬 (液剤)

有効成分	対象魚種	対象疾病	製剤名
【フロルフェニコール】  水産用フロルフェニコール2%液「KS」 画像提供：共立製薬(株)	にしん目魚類 (淡水で飼育されているもの。あゆを除く) 例 にじます やまめ さくらます あまご さつきます いわな ざんざげ 等	せっそう病 ビブリオ病 冷水病	水産用フロルフェニコール2%液「KS」

※製剤は、2025年7月時点で動物用医薬品等データベースに掲載されているものを記載

※現在の分類学ではさけ目やきゅうりうお目等に分類される魚種もありますが、水産用医薬品の分類については平成3年に設定した方法を採用しています。



4. 薬を餌にからめる方法

- ・薬を魚に食べさせるため、投薬時には、薬を餌にからめる必要があります。ここでは、その手順について詳しく解説していきます。
- ・また、ここで示す水および油の量はあくまでも目安で、適切な量は皆さんが使用する餌の種類やメーカーにより若干異なります。実際に投薬する前に、まずは給餌する餌に合った量を検討してみてください。

※参考：水および油の量の計算方法 = 投薬時の給餌量 × 適切な添加率 (%) ÷ 100

(1) 水に溶ける薬(粉末)

① 薬を水に溶かす



・必要な量の薬を水に溶かします。

水の量は、餌の重量に対して
ペレットで3~10%、
クランブルで10~15%程度が適切です。



② 薬液を餌にからめる



- ・①の薬液を餌にまぶしてかき混ぜます。
- ・この時点で全体がムラなく濡れていることを確認してください。

——— 水の量を判断する目安は次の通り ———

- 濡れ具合にムラあり ⇒ 水の量少ない
- ムラなし ⇒ 適切な量
- 薬液が底や側面に多く残る ⇒ 水の量多い

ペレットの場合、餌を乾燥させてもよい

③ 油を餌にからめる



- ・薬の溶出を防ぐため、油をまぶしてかき混ぜます。
- ・サラダ油やフィードオイル等を用いてください。
- ・餌全体に油をムラなくからめてください。

油の量は、餌の重量に対して、
ペレットで3~7%、
クランブルで5~13%の重量が適切です。
また油には、薬剤の苦味を抑え、
餌食いを向上する効果もあります。



完成!

全ての工程で共通の目的は

規定量の薬を、池の魚全体に行き渡りよう食べさせること!!

作業手順を守り、しっかりと投薬を行ってください。



(2) 水に溶けない薬(粉末)

① 薬を油に混ぜる



- ・ 水に溶けない薬は、代わりに油に混ぜます。
(油にも溶けません)
- ・ 油はサラダ油や、フィードオイルなどを用いてください。

基本は水に溶かす場合と同じ。餌の重量に対して、
ペレットで3~7%、
クランブルで5~13%の油が適切です。



② 薬液を餌にからめる



①の薬液を餌にまぶしてかき混ぜます。
水に溶かす場合と同様、全体にムラなくからめてください。

完成!

(3) 液体の薬(フロルフェニコール)

① 薬を餌にからめる



・ 規定量の薬液をそのまま餌にまぶしてかき混ぜます。

餌に対して 薬液の量が少ない ⇒ 薬液を水で伸ばしてください

完成!

完成した餌は4~5ページ記載の方法に従い、
魚に与えてください。



5. 海面養殖の場合の注意点

マス類の養殖は淡水のみで行う場合と淡水で育成された種苗を海面に搬入して養殖（ギンザケやニジマス（トラウトサーモン）など）を行う場合があります。使用できる薬が限定されるなど、海面養殖の場合の注意点をまとめました。

① 病気かどうかの見分け方

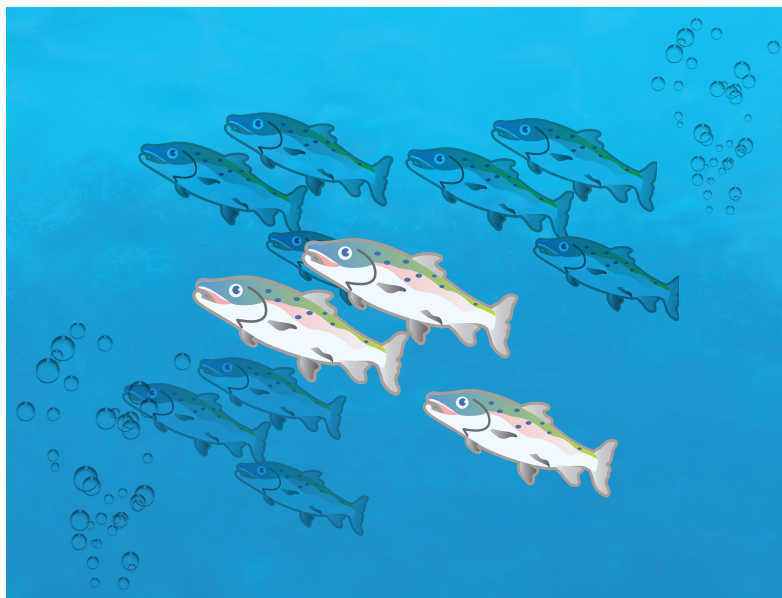
- ・淡水から海面に魚を搬入した直後に死亡が見られることがあります。一時的な死亡は海水適応が十分でなかった等、病気ではない場合があります。
- ・死亡が継続したり、増加する場合や魚の様子がいつもと違う場合は、病気の可能性もありますので、注意深く観察しましょう。海面搬入直後にせつそう病や連鎖球菌症等が発症することがあります。



事例1：健康と思われた魚（淡水飼育中に感染。症状なし）を淡水から海面に移動した際、そのストレスによって発症

事例2：淡水飼育中に発症し、不十分な治療により、海面搬入後に再度発症

- ・水温が上昇する春から初夏など、水温10℃以上ではビブリオ病の発症に注意しましょう。

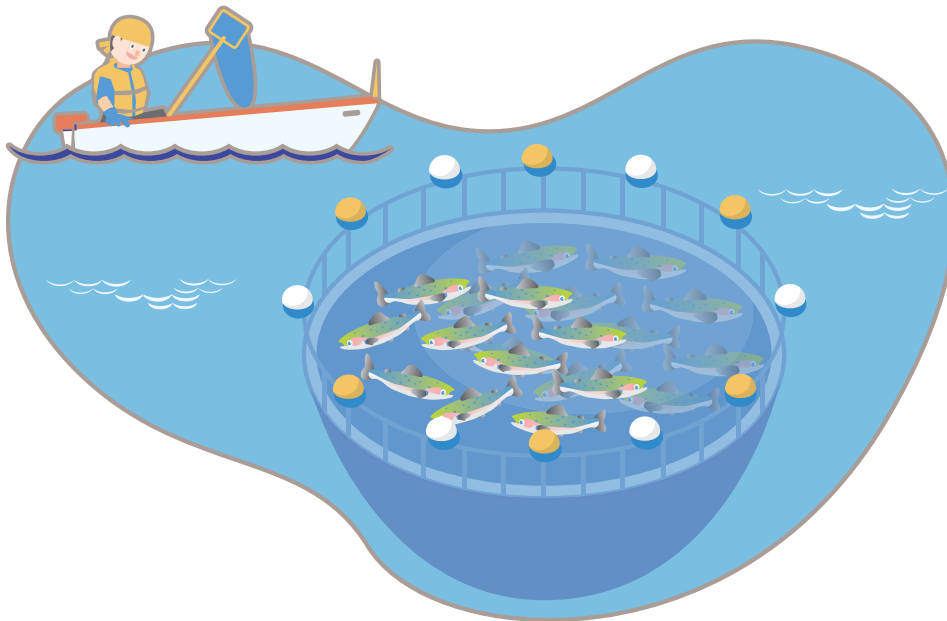


② 海面で使用できる薬

海面で養殖されているマス類では、ビブリオ病やせつそう病で薬が使用できます。さらにニジマスのみ、ビブリオ病と冷水病に対して使用できる薬があります。淡水に比べると薬が使用できる病気や薬の種類が限定されますので注意しましょう。

対象魚種	対象疾病	有効成分	製剤名
にしん目魚類 (海水中で養殖 されているもの) 例 ぎんざけ にじます さくらます 等	ビブリオ病	オキシテトラサイクリン 塩酸塩	水産用 OTC20% 「あすか」 NC 水産用 OTC20% 「バイオ」 NC 水産用 OTC50% 「バイオ」 NC 水産用 OTC 散 「TG」 10% 水産用 OTC 散 「TG」 20% 水産用 OTC 散 「TG」 40% 水産用 OTC 散 10% 「KS」 水産用 OTC 散 20% 「KS」 水産用 OTC 散 50% 「KS」
		オキシソリン酸	水産用オキシソリン酸 10% 散 「KS」 水産用オキシソリン酸 20% 散 「KS」 水産用パラザン 10%
	せつそう病	オキシソリン酸	水産用パラザン 10%
にじます のみ	ビブリオ病 冷水病	スルフイソゾール ナトリウム	イスランソーダ

※製剤は、2025年7月時点で動物用医薬品等データベースに掲載されているものを記載



ビブリオ病の予防

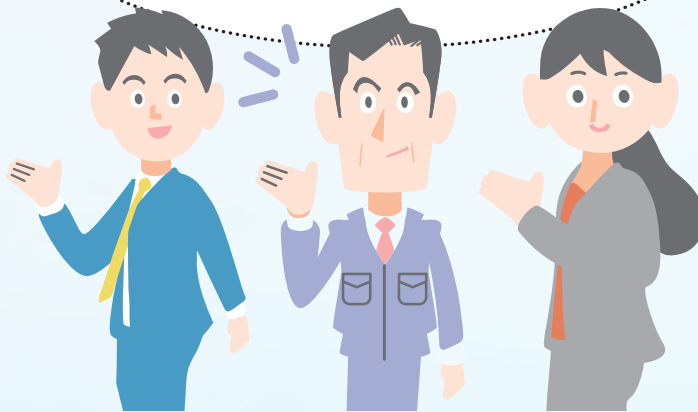
ビブリオ病に対してはワクチンが市販されており、ワクチンの使用により、予防・被害軽減が可能になります。



Q&A



困ったときは
いつでも
各都道府県の魚病担当者
におたずねください



[作成協力]

岐阜県水産研究所	中居 裕
宮城県水産技術総合センター	本庄 美穂
山梨県水産技術センター	平塚 匡
長野県水産試験場	竹花 孝太
静岡県水産・海洋技術研究所富士養鱒場	富山 皓介
滋賀県水産試験場	菅原 和宏

本パンフレットは、公益社団法人日本水産資源保護協会が
令和7年度農林水産省消費・安全局の委託事業により
作成いたしました。

農林水産省委託事業
令和8年3月 発行



水産用医薬品に
ついてのページ
(農林水産省 HP)